

のか、また、どのような場、会議で、近隣市町の意見調整を図ろうとしているのか。

A 市長 これらは、明確ではないと私は理解をしています。

カーフューの弾力的な運用を図りたいという期日に関しては、オープンスカイを3月末、27万回への容量拡大とともに開始したいということで、理解をさせていただいています。

どのように調整を図っていくのかは、明確には示されていませんが、成



国・市・N A Aによる住民説明会（2月17日開催）

田空港圏自治体連絡協議会を経て、最終的には、国、県、N A A及び関係市町で構成する四者協議会で、方向が図られると予想しています。

Q 市は最終的に何を思決定とするのか。

A 市長 最終的には、代表する私のところで、決定をしていくことにならざるを得ないと思つています。

Q 今回のカーフューの弾力的運用の受け入れについては、本当に難しい判断だと思つている。そのため、山武市の実情にあつた判断をお願いするが、今後も、国やN A A、市から、今回の件に関する住民説明会等の予定はあるのか。

A 市長 国、N A Aから示されたものはございませぬが、住民の皆様方からの要望があれば、説明会を開催すると言われています。

Q 先日、カーフューの説明会において、市長が松尾町八田地区の第1種区域に住んでいら

つしやる方の質問に対して、騒音下対策として、他の地域と差別しますと答えたそうだが、何をどのように差別するのか。

A 市長 環境整備について、できるだけ地区の要望を優先して拾うよう、部に指示を出していますし、使い勝手の悪い交付金については、もう少し使い勝手をよくするよう要望し、環境整備を進めていくことを基本的に考えていますとお答えさせて頂きました。

Q 空港周辺のインフラ整備において、特段の配慮も感じられず、空港北側と南側の発展の格差、立地条件等はあるが、発展、集客は、全て空港北側にあり、南側は、過疎が進むばかりだ。そこにカーフューの弾力的運用の提案。今回の市の意思決定は、当然ながら今後の山武市の行く末を左右するものと言つても過言ではない。ぜひ、市長の英断、政治的な判断を切にお願いするが、どうか。

A 後期計画に当たる中で、空港対策室を空港みらい対策室と名前を変えさせていただきました。対策は未来に向かつていかなければならないという意味で、メリツトの分を作り出していくという努力を、しっかりとやっていくように努力をさせて頂きたいと思つています。

(平成25年3月26日編集)

個人質問



市川 陽子 議員

●安心・安全なまちづくりについて

Q 市の防犯メールの登録者数と学校における対応状況はどうか。

A 市長 現在の登録者数は1千631人です。

A 教育部長 蓮沼中を除く18校で実施し、配信費用は、P T Aの会費から9校、使用者集金で1校、P T A会費等

々と集金が2校、市の配信メール使用が2校、無料の配信メール使用が4校です。

Q これまでの発信件数と主な犯罪の内容は

A 市民部長 平成23年度は16回、不審者情報、声かけや露出など。

25年2月現在、15回で学校教育課から不審者情報、山武警察署から振り込め詐欺、自動車盗難等で配信しました。

Q 警察と市がタイアップして行うのか。

A 市民部長 山武警察署から登録者数がある程度確保できれば、尋ね人、迷子の情報を防災無線をやめて一本化した

いという提案もいただいております。

Q 子ども110番の家に御協力いただきたい件数はどうか。

A 市民部長 全体で591軒で、成東地域151軒、山武地域275軒、松尾地域96軒、蓮沼地域が69軒です。

Q 看板の点検はどうしているのか。

A 市民部長 警察署から市防犯協会へ依頼がありました。看板の確認はできていません。

A 教育部長 地区の児童会、集団下校時やマップで確認し、各地区の登校班ごとに挨拶に行つたりと児童への周知等を図っています。

協力 少年センター

山武警察署

防犯協会・学警連・職警連・金防協

「子ども110番の家」の看板